

飽きっぽい性格？



渡辺 俊之

(昭和43年商学部卒)

好奇心旺盛ですね！と言われることがある。

自認しなくもないが、実は「飽きっぽい」だけである。何事も長続きがしないだけで、私に気を使い、あたり触らないように、「好奇心旺盛ですね」と言っていた。

40才台後半、国立競技場の下にある霞友クラブで長年続けていた水泳も、4種目マスターしたら目標を失い頓挫。

40年間途切れることのなかった、スキーも60才超えたら誰も遊んでくれなくなりこれもやむなく2年前から中断中。1級のバッチテストに受かりそうもないので、50才代前半に、2個目の2級バッチを取得したのに残念。

水泳の延長線にあるダイビングも、沖縄中心に50本潜ったあたりで、思い出したくない事故に遭いそうになり、即中止。

やろうやろうと頭の中だけで考えていたウォーキングも、歩行計と体重計とパソコンがセットになった、年齢別、都道府県別、性別の全国ランキング結果が日々でくる製品に出会い、夢中に歩きだして一年。距離にして北海道から兵庫県位にきたあたりで、急に鈍りだす。

データの入っているパソコンを替えて、あまりデータ転送できなくなったのが原因か？

沖縄ダイビングの延長線で出会った、沖縄唄三線。これはハマリにハマル。若い男女の飲み仲間も一気に増え、歩きながら聞き込むのは当然、風呂の中やら車中と、一日中沖縄本島の音楽、そしてこれも飽きて八重山の古典音楽の唄と三線へ。

港区民祭りやら、北軽井沢森のコンサートへの出演は今考えると冷や汗もの。

30～40才代の若い仲間とのメーリングリストでのやり取りや、ネット上でのファイルの扱い等は、IT技術の最新技術を習熟するのに大いに勉強させて頂き今役に立つ。

7年間も沖縄音楽どっぷりの生活が続き、これは一生ものかな？と考えていた所、遊び先が税務のクライアントになった、向島の料亭の女将が、「三味線、家に沢山あるから、これ先生にあげます。」といわれ高価な紅木の三味線を頂く。貰ったら稽古せざるをえなくなり、今は端唄・小唄の世界にのめり込み中。美人の師匠と面と向かっての稽古も悪くないっす！

土曜が2回あれば両立するのにそれも叶わず、今は江戸音楽に傾斜。結果沖縄音楽が頓挫しかかっている。

カラオケも大好き。安く飲める銀座のスナックにもよく顔を出す。しかしこのママも今年中に店閉まいするという。となると、好きなカラオケも中座やむなしか？

そういえば仕事も飽きっぽいのだろうか？いやこれは新しいことが好き、と前向きに言わせていただく。

監査専業から、独立後は税務専業に。しかし法人全体では100人近くになっている税理士法人はほとんど管理業務のみ。今は、繰延税金資産の回収可能性やら、固定資産の減損で割引前キャッシュフローの予測やらと、将来予測の予想屋の業務ばかり。個人零細監査事務所なので、相変わず現場に出て、細かな資料とにらめっこ。同じ科目ばかりやっていると新しいことに目も移ります。

大手一部上場会社の社外監査役という仕事も面白い。会社法を実証的に実務経験できるのがうれしい。月三回の取締役会と執行役員会はきついですが、まだ興味津々です。理想とするコーポレートガバナンスって何？

包括外部監査という新たな分野でも苦勞中で、今は清掃事業に取組み、マテリアルリサイクルか、サーマルか、ケミカルリサイクルか、何が効率的で環境負荷がすくなく、コストがかからない？と議論しています。

これは3年経ったら、飽きが来なくても任期が切れるので一番向いている仕事かも？